

鹿児島森林管理署交渉（全国林野関連労働組合鹿児島森林管理署分会）

議 事 要 旨

1 日 時 平成30年2月15日（木） 13：30～14：30

2 場 所 鹿児島森林管理署 会議室

3 出席者

鹿児島森林管理署

同

同

中西 誠

杉野 隆二

小野 貴行

署長

次長

総括事務管理官

全国林野関連労働組合鹿児島森林管理署分会

同

同

同

同

白内 慎哉

小島 洋一

下村 治雄

岩下 晃之

谷端美菜子

委員長

副委員長

副委員長

書記長

執行委員

4 交渉事項

- (1) 平成30年度事業量等に伴う労働条件について
- (2) 労働安全について
- (3) その他

5 議事概要

- (1) 平成30年度事業量等に伴う労働条件について

組合) 平成30年度の生産量・販売量の計画は減となっているものの、今後、債務返済額が増大していく中、生産量等のさらなる増加が見込まれるところであり、これにより職員への負担増が懸念されることから、実態に応じた適正な計画量となるよう職員の負担軽減に向けた対応をお願いしたい。なお、立木販売の不調が多く見られるなか、特に南薩流域は計画と実行の乖離が危惧されることから、現地の実態を踏まえ計画すること。また、2年目となる市場化テストは、職員が困惑しないよう進めること。

当局) 円滑な事業運営については、管理者が率先してリーダーシップを発揮し、計画・実行して参る所存である。なお、立木販売は、林分状況を踏まえ、需用者を絞り込んでの販売活動を行うなど計画的な実施に努めるとともに、南薩流域の乖離については、平成30年度の本編成を踏まえ適切に対応して参りたい。また市場化テストについても署担当総括を中心に、署・局担当者と打合せしながら対応して参りたい。

組合) 職員が配置されていないポストが増えていることから、職員の超過勤務が増加している状況にある。特に地域技術官は級以上の業務を行っている実態であり、適正な職員配置を要望するとともに、地域技術官の業務フォローを行うこと。

当局) 限られた職員数の中、若手職員が空きポストの業務を担い苦勞している状況にあることは認識しているところであり、グループ間の応援体制の調整を図りながら、非常勤職員等を活用する等、超過勤務の縮減に努めて参りたい。なお、地域技術官が森林官業務を遂行していることから、任せきりにならないよう目配りしながら業務フォローに努めて参りたい。

組合) 当署の宿舎は経年劣化により修理する箇所が多く、入居者に不便をきたしていることから、修繕予算の確保等、適切な管理に努めること。

当局) 宿舎の修繕等については、職員の生活に支障をきたさないよう、緊急性の高い

ものを優先的に、早めの対応をして参りたい。なお、経年劣化による修繕箇所は、必要な予算を上局へ上申して参りたい。

組合) 当署の公用車は、古い車両が見られ安全上問題があることから、更新を適切に実施すること。

当局) 経年劣化など車両の現状等を踏まえ、効率的な更新に努めることとし、上局に要望して参りたい。

## (2) 労働安全について

組合) 当署において職員災害は発生していないが、労働災害防止に向けてあらためて安全指導を徹底されたい。

当局) 当署の安全確保対策は、署長の強いリーダーシップの下、貴組合の協力により無災害を継続しているところである。

職員災害防止については、引き続き通知文書の発出や、出署日及び安全勉強会等を通じて機会ある毎に注意喚起を行うなど、適切な安全指導を徹底して参りたい。

## (3) その他

組合) 旅費システムについては、精算・支払がスムーズに行われていないことから、マニュアルを作成するなど、差し戻し等がないよう指導すること。特に、高額になる研修、宿泊出張は、職員の負担額が大きいことから早期の支払いを行うこと。

当局) 旅費については、適切な支払いとなるよう、マニュアルを作成して配布するとともに、特に職員負担が大きい高額旅費請求は、滞りのない支払いとなるよう対応して参りたい。